

神奈川県介護員養成研修事業指定基準 新旧対照表

新	旧
<p style="text-align: center;">神奈川県介護員養成研修事業指定基準</p> <p style="text-align: center;">平成 24 年 11 月 14 日適用 一部改正 平成 25 年 4 月 1 日適用 一部改正 平成 29 年 4 月 1 日適用 一部改正 平成 30 年 4 月 1 日適用 一部改正 平成 30 年 12 月 10 日適用 一部改正 <u>令和 3 年 7 月 15 日適用</u></p> <p>神奈川県介護員養成研修事業指定要綱（以下「要綱」という。）第<u>4</u>条の規定に基づき、介護員養成研修事業の指定基準を次のとおり定める。</p> <p>I 介護職員初任者研修 1～19 （略）</p> <p>2 0 介護職員初任者研修及び生活援助従事者研修を同一の研修事業者が行う場合の指定事務の取り扱い 要綱に基づき、生活援助従事者研修の事業者として指定されている者については、要綱第<u>9</u>条に定める変更の届出を行うことで、既に介護職員初任者研修の事業者として指定されたものとみなす。</p> <p>21～23 （略）</p> <p>II 生活援助従事者研修 1～19 （略）</p> <p>2 0 介護職員初任者研修及び生活援助従事者研修を同一の研修事業者が行う場合の指定事務の取り扱い 要綱に基づき、介護職員初任者研修の事業者として指定されている者については、要綱第<u>9</u>条に定める変更の届出を行うことで、既に生活援助従事者研修の事業者として指定されたものとみなす。</p> <p>21～23 （略）</p>	<p style="text-align: center;">神奈川県介護員養成研修事業指定基準</p> <p style="text-align: center;">平成 24 年 11 月 14 日適用 一部改正 平成 25 年 4 月 1 日適用 一部改正 平成 29 年 4 月 1 日適用 一部改正 平成 30 年 4 月 1 日適用 一部改正 平成 30 年 12 月 10 日適用</p> <p>神奈川県介護員養成研修事業指定要綱（以下「要綱」という。）第<u>5</u>条の規定に基づき、介護員養成研修事業の指定基準を次のとおり定める。</p> <p>I 介護職員初任者研修 1～19 （略）</p> <p>2 0 介護職員初任者研修及び生活援助従事者研修を同一の研修事業者が行う場合の指定事務の取り扱い 要綱に基づき、生活援助従事者研修の事業者として指定されている者については、要綱第<u>10</u>条に定める変更の届出を行うことで、既に介護職員初任者研修の事業者として指定されたものとみなす。</p> <p>21～23 （略）</p> <p>II 生活援助従事者研修 1～19 （略）</p> <p>2 0 介護職員初任者研修及び生活援助従事者研修を同一の研修事業者が行う場合の指定事務の取り扱い 要綱に基づき、介護職員初任者研修の事業者として指定されている者については、要綱第<u>10</u>条に定める変更の届出を行うことで、既に生活援助従事者研修の事業者として指定されたものとみなす。</p> <p>21～23 （略）</p>

神奈川県介護員養成研修事業指定基準 新旧対照表

新	旧																																				
別紙1-1～1-2 (略)	別紙1-1～1-2 (略)																																				
別表1-1	別表1-1																																				
介護職員初任者研修 研修科目及び研修時間数	介護職員初任者研修 研修科目及び研修時間数																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名及び項目名 (丸数字…項目名)</th> <th>研修時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解</td> <td>6時間</td> </tr> <tr> <td>2 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護</td> <td>9時間</td> </tr> <tr> <td>3 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全</td> <td>6時間</td> </tr> <tr> <td>4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度</td> <td>9時間</td> </tr> <tr> <td>5 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション</td> <td>6時間</td> </tr> <tr> <td>6 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 ②高齢者と健康</td> <td>6時間</td> </tr> <tr> <td>7 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援</td> <td>6時間</td> </tr> <tr> <td>8 障害の理解 ①障害の基礎的理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 ③家族の心理、かかわり支援の理解</td> <td>3時間</td> </tr> </tbody> </table>	科目名及び項目名 (丸数字…項目名)	研修時間数	1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解	6時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護	9時間	3 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全	6時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度	9時間	5 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション	6時間	6 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 ②高齢者と健康	6時間	7 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援	6時間	8 障害の理解 ①障害の基礎的理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 ③家族の心理、かかわり支援の理解	3時間	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名及び項目名 (丸数字…項目名)</th> <th>研修時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解</td> <td>6時間</td> </tr> <tr> <td>2 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護</td> <td>9時間</td> </tr> <tr> <td>3 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全</td> <td>6時間</td> </tr> <tr> <td>4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度</td> <td>9時間</td> </tr> <tr> <td>5 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション</td> <td>6時間</td> </tr> <tr> <td>6 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 ②高齢者と健康</td> <td>6時間</td> </tr> <tr> <td>7 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援</td> <td>6時間</td> </tr> <tr> <td>8 障害の理解 ①障害の基礎的理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識 ③家族の心理、かかわり支援の理解</td> <td>3時間</td> </tr> </tbody> </table>	科目名及び項目名 (丸数字…項目名)	研修時間数	1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解	6時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護	9時間	3 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全	6時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度	9時間	5 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション	6時間	6 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 ②高齢者と健康	6時間	7 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援	6時間	8 障害の理解 ①障害の基礎的理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識 ③家族の心理、かかわり支援の理解	3時間
科目名及び項目名 (丸数字…項目名)	研修時間数																																				
1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解	6時間																																				
2 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護	9時間																																				
3 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全	6時間																																				
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度	9時間																																				
5 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション	6時間																																				
6 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 ②高齢者と健康	6時間																																				
7 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援	6時間																																				
8 障害の理解 ①障害の基礎的理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 ③家族の心理、かかわり支援の理解	3時間																																				
科目名及び項目名 (丸数字…項目名)	研修時間数																																				
1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解	6時間																																				
2 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護	9時間																																				
3 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全	6時間																																				
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度	9時間																																				
5 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション	6時間																																				
6 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 ②高齢者と健康	6時間																																				
7 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援	6時間																																				
8 障害の理解 ①障害の基礎的理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識 ③家族の心理、かかわり支援の理解	3時間																																				

9	こころとからだのしくみと生活支援技術	75 時間
		(時間の目安)
	< 基本知識の学習 > ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	10～13 時間程度
	< 生活支援技術の講義・演習 > ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	50～55 時間程度 * 総時間の概ね 5～6割を技術 演習にあて、その 他の時間は、個々 の技術に関連し たこころとから だのしくみ等の 根拠の学習及び 技術についての 講義等に充てる。
	生活支援技術演習 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習	10～12 時間程度
10	振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	4 時間

- 「職務の理解」はカリキュラムの最初に、「振り返り」は最後に設定すること。
それぞれ、高齢者・障害者（児）施設及びサービス事業所等の見学を活用できる。
- 演習実施前に必要な知識の学習が行えるようにカリキュラムを設定すること。
- 「こころとからだのしくみと生活支援技術」については、「基本知識の学習」「生活介護技術の講義・演習」を行った後に「生活支援技術演習」を行う。
- 「生活支援技術演習」は「振り返り」以外の講義・演習を修了後に行うのが望ましい。
(実習について)
- 「こころとからだのしくみと生活支援技術」75時間のうち、上限12時間の範囲で、高齢者・障害者(児)施設及びサービス事業所等における実習を活用できる。
なお、実習先の種別(施設、通所事業所、訪問介護事業所)の選択、組み合わせ及び時間数は、受講者の希望等を考慮し、各事業者の裁量で決定できる。
また、規定の75時間に独自に時間を追加して実習を増やすことは可能である。
- 実習の内容は、単なる見学ではなく、受講者が利用者として現場の業務を体感できる内容で実施すること。
- 実習は、「生活支援技術演習」修了後「振り返り」の前に行い、「生活支援技術演習」で一定の水準を超えていると評価を受けた後に行う。

9	こころとからだのしくみと生活支援技術	75 時間
		(時間の目安)
	< 基本知識の学習 > ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	10～13 時間程度
	< 生活支援技術の講義・演習 > ④生活と家事 ⑤快適な住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	50～55 時間程度 * 総時間の概ね 5～6割を技術 演習にあて、その 他の時間は、個々 の技術に関連し たこころとから だのしくみ等の 根拠の学習及び 技術についての 講義等に充てる。
	生活支援技術演習 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習	10～12 時間程度
10	振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	4 時間

- 「職務の理解」はカリキュラムの最初に、「振り返り」は最後に設定すること。
それぞれ、高齢者・障害者（児）施設及びサービス事業所等の見学を活用できる。
- 演習実施前に必要な知識の学習が行えるようにカリキュラムを設定すること。
- 「こころとからだのしくみと生活支援技術」については、「基本知識の学習」「生活介護技術の講義・演習」を行った後に「生活支援技術演習」を行う。
- 「生活支援技術演習」は「振り返り」以外の講義・演習を修了後に行うのが望ましい。
(実習について)
- 「こころとからだのしくみと生活支援技術」75時間のうち、上限12時間の範囲で、高齢者・障害者(児)施設及びサービス事業所等における実習を活用できる。
なお、実習先の種別(施設、通所事業所、訪問介護事業所)の選択、組み合わせ及び時間数は、受講者の希望等を考慮し、各事業者の裁量で決定できる。
また、規定の75時間に独自に時間を追加して実習を増やすことは可能である。
- 実習の内容は、単なる見学ではなく、受講者が利用者として現場の業務を体感できる内容で実施すること。
- 実習は、「生活支援技術演習」修了後「振り返り」の前に行い、「生活支援技術演習」で一定の水準を超えていると評価を受けた後に行う。

別表1—2

生活援助従事者研修 研修科目及び研修時間数

科目名及び項目名（丸数字…項目名）	研修時間数
1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解	2時間
2 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護	6時間
3 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全	4時間
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度	3時間
5 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション	6時間
6 老化と認知症の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 ②高齢者と健康 ③認知症を取り巻く状況 ④医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ⑤認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ⑥家族への支援	9時間
7 障害の理解 ①障害の基礎的理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 ③家族の心理、かかわり支援の理解	3時間

別表1—2

生活援助従事者研修 研修科目及び研修時間数

科目名及び項目名（丸数字…項目名）	研修時間数
1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解	2時間
2 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護	6時間
3 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全	4時間
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度およびその他制度	3時間
5 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームのコミュニケーション	6時間
6 老化と認知症の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 ②高齢者と健康 ③認知症を取り巻く状況 ④医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ⑤認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ⑥家族への支援	9時間
7 障害の理解 ①障害の基礎的理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識 ③家族の心理、かかわり支援の理解	3時間

8	こころとからだのしくみと生活支援技術	24時間
		(時間の目安)
	<基本知識の学習> ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3～5時間程度
	<生活支援技術の講義・演習> ④生活と家事 ⑤快適な居住環境整備と介護 ⑥移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	17～19時間程度 *総時間の概ね5～6割を技術演習にあて、その他の時間は、個々の技術に関連したこころとからだのしくみ等の根拠の学習及び技術についての講義等に充てる。
	生活支援技術演習 ⑩介護過程の基礎的理解	3～5時間程度
9	振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2時間

- 「職務の理解」はカリキュラムの最初に、「振り返り」は最後に設定すること。
それぞれ、高齢者・障害者（児）施設及びサービス事業所等の見学を活用できる。
- 演習実施前に必要な知識の学習が行えるようにカリキュラムを設定すること。
- 「こころとからだのしくみと生活支援技術」については、「基本知識の学習」「生活介護技術の講義・演習」を行った後に「生活支援技術演習」を行う。
- 「生活支援技術演習」は「振り返り」以外の講義・演習を修了後に行うのが望ましい。
(実習について)
- 「こころとからだのしくみと生活支援技術」においては移動・移乗に関連した実習を2時間実施すること。
なお、実習先の種別（施設、通所事業所、訪問介護事業所）の選択、組み合わせ及び時間数は、受講者の希望等を考慮し、各事業者の裁量で決定できる。
また、規定の24時間に独自に時間を追加して実習を増やすことは可能である。
- 実習の内容は、単なる見学ではなく、受講者が利用者として現場の業務を体感できる内容で実施すること。
- 実習は、「生活支援技術演習」修了後「振り返り」の前に行い、「生活支援技術演習」で一定の水準を超えていると評価を受けた後に行う。

別表2-1～別表5-2（略）

8	こころとからだのしくみと生活支援技術	24時間
		(時間の目安)
	<基本知識の学習> ①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3～5時間程度
	<生活支援技術の講義・演習> ④生活と家事 ⑤快適な住環境整備と介護 ⑥移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	17～19時間程度 *総時間の概ね5～6割を技術演習にあて、その他の時間は、個々の技術に関連したこころとからだのしくみ等の根拠の学習及び技術についての講義等に充てる。
	生活支援技術演習 ⑩介護過程の基礎的理解	3～5時間程度
9	振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2時間

- 「職務の理解」はカリキュラムの最初に、「振り返り」は最後に設定すること。
それぞれ、高齢者・障害者（児）施設及びサービス事業所等の見学を活用できる。
- 演習実施前に必要な知識の学習が行えるようにカリキュラムを設定すること。
- 「こころとからだのしくみと生活支援技術」については、「基本知識の学習」「生活介護技術の講義・演習」を行った後に「生活支援技術演習」を行う。
- 「生活支援技術演習」は「振り返り」以外の講義・演習を修了後に行うのが望ましい。
(実習について)
- 「こころとからだのしくみと生活支援技術」においては移動・移乗に関連した実習を2時間実施すること。
なお、実習先の種別（施設、通所事業所、訪問介護事業所）の選択、組み合わせ及び時間数は、受講者の希望等を考慮し、各事業者の裁量で決定できる。
また、規定の24時間に独自に時間を追加して実習を増やすことは可能である。
- 実習の内容は、単なる見学ではなく、受講者が利用者として現場の業務を体感できる内容で実施すること。
- 実習は、「生活支援技術演習」修了後「振り返り」の前に行い、「生活支援技術演習」で一定の水準を超えていると評価を受けた後に行う。

別表2-1～別表5-2（略）

通信の取扱い

1～5 (8) (略)

- (9) 提出された課題については、講師要件を充たす各科目・項目ごとに決められた添削担当講師が、適切な添削指導を行うこと。
また、課題の解答については、正解の送付のみではなく、解説等を加えることにより、理解の促進を図ること。

5 (10) ～8 (略)

別紙3～4 (略)

通信の取扱い

1～5 (8) (略)

- (9) 提出された課題については、講師要件を充たす各科目・項目ごとに決められた添削担当講師が、適切な添削指導を行うこと。なお、担当講師が添削したことを確認できるように、課題の答案に押印又はサインを入れた上で受講者に返送すること。
また、課題の解答については、正解の送付のみではなく、解説等を加えることにより、理解の促進を図ること。

5 (10) ～8 (略)

別紙3～4 (略)

補講等の取扱い

1～2 (5) (略)

(6) レポートにより修了を認定する場合は、担当講師がレポートに評価結果を記入し、受講者に返却する。事業者はレポートの写しを修了認定の根拠資料として保管すること。

2 (7)～5 (略)

別紙6～10 (略)

補講等の取扱い

1～2 (5) (略)

(6) レポートにより修了を認定する場合は、担当講師がレポートに評価結果を記入し、確認印を押印の上、受講者に返却する。事業者はレポートの写しを修了認定の根拠資料として保管すること。

2 (7)～5 (略)

別紙6～10 (略)

神奈川県介護員養成研修事業指定基準 新旧対照表

新	旧
<p style="text-align: right;">別添様式 1</p> <p style="text-align: center;">誓約書</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p>	<p style="text-align: right;">別添様式 1</p> <p style="text-align: center;">誓約書</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p>
<p>神奈川県知事殿</p> <p style="text-align: right;">申請者 (所在地) 〒 (法人名) (代表者名) (電 話)</p>	<p>神奈川県知事殿</p> <p style="text-align: right;">申請者 (所在地) 〒 (法人名) (代表者名) (電 話)</p> <p style="text-align: right;">印</p>
<p>1 介護員養成研修事業者の指定を受けるにあたって、神奈川県介護員養成研修事業指定要綱、神奈川県介護員養成研修指定基準その他関係法令等を遵守することを 誓約します ・ 誓約しません</p> <p>2 下記のいずれにも該当しないことを 誓約します ・ 誓約しません</p>	<p>1 介護員養成研修事業者の指定を受けるにあたって、神奈川県介護員養成研修事業指定要綱、神奈川県介護員養成研修指定基準その他関係法令等を遵守することを 誓約します ・ 誓約しません</p> <p>2 下記のいずれにも該当しないことを 誓約します ・ 誓約しません</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 本県又は他の都道府県において、過去5年以内に、介護保険法施行令（平成10年政令第412号。）第3条第1項第1号ロに定める介護員養成研修事業者としての不指定又は指定の取消し等の処分を受けた者又は研修事業の実施にあたり継続的な指示、指導を受けているなどの事実によって、適正な研修事業の実施能力に疑義を生じさせる者</p> <p>② 本県又は他の都道府県において、過去5年以内に、「指定居宅介護等の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの」（平成18年9月29日厚生労働省告示第538号）第1条第3号から第7号に掲げる研修を実施する事業者としての不指定又は指定の取消し等の処分を受けた者</p> <p>③ 本県、他の都道府県、指定都市又は中核市において、過去5年以内に、介護保険法（平成9年法律第123号）に基づく介護サービス事業者としての指定または許可を取り消された者</p> <p>④ 本県、他の都道府県、指定都市又は中核市において、過去5年以内に、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）又は障害者自立支援法（平成17年法律第123号）に基づくサービス事業者としての指定を取り消された者</p> <p>⑤ 上記①～④の取消し等の処分に係る行政手続法（平成5年法律第88号）第15条の規定による聴聞の通知後、処分決定前に当該事業の廃止の届出をした者で、当該届出日から5年を経過しない者</p> <p>⑥ 介護保険法（平成9年法律第123号）又は政令第35条の2に定めるその他国民の保健医療若しくは福祉に関する法律の規定により罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者</p> <p>⑦ 申請者の代表者が、上記①～⑥までのいずれかに該当する法人において、当該処分の理由となった事実があったとき又はその事実が継続している間にその代表者であった者</p> <p>⑧ 申請者の代表者が、上記⑥に該当する者であるとき又は禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者</p> <p>⑨ 申請者又は申請者の代表者が、介護員養成研修及び関係法令に係る研修等又は介護サービス等の事業において、基準違反に関する改善勧告、改善命令その他の処分を受けて改善がなされていない、又は継続的な指導を受けているなどの事実によって、適正な研修事業の実施能力に疑義を生じさせる者</p> <p>⑩ 神奈川県暴力団排除条例（平成22年神奈川県条例第75号。以下「条例」という。）第2条第5号に定める暴力団経営支配法人等と認められる者又は申請者の役員等が条例第2条第4号に定める暴力団員等と認められる者</p> <p>⑪ 条例第23条第1項に違反していると認められる者</p> <p>⑫ 条例第23条第2項に違反していると認められる者</p> <p>⑬ 申請者及び申請者の役員等が、暴力団員等と密接な関係を有していると認められる者</p> <p>⑭ 納付すべき租税公課を滞納している者</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 本県又は他の都道府県において、過去5年以内に、介護保険法施行令（平成10年政令第412号。）第3条第1項第1号に定める介護員養成研修事業者としての不指定又は指定の取消し等の処分を受けた者又は研修事業の実施にあたり継続的な指示、指導を受けているなどの事実によって、適正な研修事業の実施能力に疑義を生じさせる者</p> <p>② 本県又は他の都道府県において、過去5年以内に、「指定居宅介護等の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの」（平成18年9月29日厚生労働省告示第538号）第1条第3号から第7号に掲げる研修を実施する事業者としての不指定又は指定の取消し等の処分を受けた者</p> <p>③ 本県、他の都道府県、指定都市又は中核市において、過去5年以内に、介護保険法（平成9年法律第123号）に基づく介護サービス事業者としての指定または許可を取り消された者</p> <p>④ 本県、他の都道府県、指定都市又は中核市において、過去5年以内に、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）又は障害者自立支援法（平成17年法律第123号）に基づくサービス事業者としての指定を取り消された者</p> <p>⑤ 上記①～④の取消し等の処分に係る行政手続法（平成5年法律第88号）第15条の規定による聴聞の通知後、処分決定前に当該事業の廃止の届出をした者で、当該届出日から5年を経過しない者</p> <p>⑥ 介護保険法（平成9年法律第123号）又は政令第35条の2に定めるその他国民の保健医療若しくは福祉に関する法律の規定により罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者</p> <p>⑦ 申請者の代表者が、上記①～⑥までのいずれかに該当する法人において、当該処分の理由となった事実があったとき又はその事実が継続している間にその代表者であった者</p> <p>⑧ 申請者の代表者が、上記⑥に該当する者であるとき又は禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者</p> <p>⑨ 申請者又は申請者の代表者が、介護員養成研修及び関係法令に係る研修等又は介護サービス等の事業において、基準違反に関する改善勧告、改善命令その他の処分を受けて改善がなされていない、又は継続的な指導を受けているなどの事実によって、適正な研修事業の実施能力に疑義を生じさせる者</p> <p>⑩ 神奈川県暴力団排除条例（平成22年神奈川県条例第75号。以下「条例」という。）第2条第5号に定める暴力団経営支配法人等と認められる者又は申請者の役員等が条例第2条第4号に定める暴力団員等と認められる者</p> <p>⑪ 条例第23条第1項に違反していると認められる者</p> <p>⑫ 条例第23条第2項に違反していると認められる者</p> <p>⑬ 申請者及び申請者の役員等が、暴力団員等と密接な関係を有していると認められる者</p> <p>⑭ 納付すべき租税公課を滞納している者</p> </div>
<p>別添様式2～2-2（略）</p>	<p>別添2～2-2（略）</p>

介護職員初任者研修カリキュラム
事業者名
研修事業の名称

1 職務の理解 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①多様なサービスの理解	時間	
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	時間	
合計		
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①人権と尊厳を支える介護	時間	
②自立に向けた介護	時間	
合計		
3 介護の基本 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	時間	

介護職員初任者研修カリキュラム
事業者名
研修事業の名称

1 職務の理解 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	時間	
	時間	
合計		
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	時間	
	時間	
合計		
3 介護の基本 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	時間	

②介護職の職業倫理	時間	
③介護における安全の確保と リスクマネジメント	時間	
④介護職の安全	時間	
合計		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（時間）

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護保険制度	時間	
②医療との連携とリハビリテー ション	時間	
③障害福祉制度およびその他制 度	時間	
合計		

	時間	
	時間	
	時間	
合計		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（時間）

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	時間	
	時間	
	時間	
合計		

5 介護におけるコミュニケーション技術 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護におけるコミュニケーション	時間	
②介護におけるチームのコミュニケーション	時間	
合計		
6 老化の理解 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①老化に伴うこころとからだの変化と日常	時間	
②高齢者と健康	時間	
合計		
7 認知症の理解 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①認知症を取り巻く状況	時間	
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	時間	

5 介護におけるコミュニケーション技術 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	時間	
	時間	
合計		
6 老化の理解 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	時間	
	時間	
合計		
7 認知症の理解 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	時間	
	時間	

③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	時間	
④家族への支援	時間	
合計		

8 障害の理解 (時間)

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①障害の基礎的理解	時間	
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識	時間	
③家族の心理、かかり支援の理解	時間	
合計		

9 こころとからだのしくみと生活支援技術 (時間)

基本知識の学習	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	①介護の基本的な考え方	時間	
	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	時間	
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	時間	

	時間	
	時間	
合計		

9 こころとからだのしくみと生活支援技術 (時間)

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	時間	
	時間	
	時間	
合計		

9 こころとからだのしくみと生活支援技術 (時間)

基本知識の学習	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
		時間	
		時間	
		時間	

生活支援技術の講義・演習	④生活と家事	時間	
	⑤快適な居住環境整備と介護	時間	
	⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	
	⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	
	⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	
	⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	
	⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	
	⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	
	⑫死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	時間	
生活支援技術演習	⑬介護過程の基礎的理解	時間	
	⑭総合生活支援技術演習	時間	
実習		時間	
合計			
10 振り返り (時間)			
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法	
①振り返り	時間		

生活支援技術の講義・演習		時間	
		時間	
生活支援技術演習		時間	
		時間	
実習		時間	
合計			
10 振り返り (時間)			
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法	
	時間		

②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	時間	
合計		

全カリキュラム合計時間	時間
-------------	----

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。
 ※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること。

合計		

全カリキュラム合計時間	時間
-------------	----

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。
 ※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること。

生活援助従事者研修カリキュラム
事業者名
研修事業の名称

1 職務の理解 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①多様なサービスの理解	時間	
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	時間	
合計		
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①人権と尊厳を支える介護	時間	
②自立に向けた介護	時間	
合計		
3 介護の基本 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	時間	

生活援助従事者研修カリキュラム
事業者名
研修事業の名称

1 職務の理解 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	時間	
	時間	
合計		
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	時間	
	時間	
合計		
3 介護の基本 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	時間	

②介護職の職業倫理	時間	
③介護における安全の確保と リスクマネジメント	時間	
④介護職の安全	時間	
合計		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（時間）

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護保険制度	時間	
②医療との連携と リハビリテーション	時間	
③障害福祉制度およびその他制 度	時間	
合計		

5 介護におけるコミュニケーション技術（時間）

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護におけるコミュニケーシ ョン	時間	

	時間	
	時間	
	時間	
合計		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（時間）

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	時間	
	時間	
	時間	
合計		

5 介護におけるコミュニケーション技術（時間）

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	時間	

②介護におけるチームのコミュニケーション	時間	
合計		
6 老化と認知症の理解 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①老化に伴うところとからだの変化と日常	時間	
②高齢者と健康	時間	
③認知症を取り巻く状況	時間	
④医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	時間	
⑤認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	時間	
⑥家族への支援	時間	

	時間	
合計		
6 老化と認知症の理解 (時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	時間	

合計		
7 障害の理解(時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①障害の基礎的理解	時間	
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	時間	
③家族の心理、かかわり支援の理解	時間	
合計		

8 こととからだのしくみと生活支援技術 (時間)			
基本知識の学習	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	①介護の基本的な考え方	時間	
	②介護に関するところのしくみの基礎的理解	時間	
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	時間	
生活支援技術の講義・演習	④生活と家事	時間	
	⑤快適な居住環境整備と介護	時間	
	⑥移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	
	⑦食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	

合計		
7 障害の理解(時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	時間	
	時間	
	時間	
合計		

8 こととからだのしくみと生活支援技術 (時間)			
基本知識の学習	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
		時間	
		時間	
生活支援技術の講義・演習		時間	
		時間	
		時間	
		時間	

	⑧睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	
	⑨死にゆく人に関するこころとからだのしくみと終末期介護	時間	
生活支援技術演習	⑩介護過程の基礎的理解	時間	
実習		時間	
	合計		
9 振り返り (時間)			
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法	
①振り返り	時間		
②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	時間		
	合計		
全カリキュラム合計時間		時間	

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。

※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること。

		時間	
		時間	
生活支援技術演習		時間	
実習		時間	
	合計		
9 振り返り (時間)			
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法	
	時間		
	時間		
	合計		
全カリキュラム合計時間		時間	

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。

※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること。

介護職員初任者研修カリキュラム(通信課程用)

事業者名
研修事業の名称

1 職務の理解 (時間)					
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法			
①多様なサービスの理解	時間				
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	時間				
合計					
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①人権と尊厳を支える介護	時間	時間	時間		
②自立に向けた介護	時間	時間	時間		
合計					
3 介護の基本 (時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	時間	時間	時間		

介護職員初任者研修カリキュラム(通信課程用)

事業者名
研修事業の名称

1 職務の理解 (時間)					
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法			
	時間				
	時間				
合計					
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
合計					
3 介護の基本 (時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	時間	時間	時間		

②介護職の職業倫理	時間	時間	時間		
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	時間	時間	時間		
④介護職の安全	時間	時間	時間		
合計					

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (時間)

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①介護保険制度	時間	時間	時間		
②医療との連携とリハビリテーション	時間	時間	時間		
③障害福祉制度およびその他制度	時間	時間	時間		

	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
合計					

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (時間)

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		

合計					
5 介護におけるコミュニケーション技術 (時間)					
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①介護におけるコミュニケーション	時間	時間	時間		
②介護におけるチームのコミュニケーション	時間	時間	時間		
合計					
6 老化の理解 (時間)					
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①老化に伴うこころとからだの変化と日常	時間	時間	時間		
②高齢者と健康	時間	時間	時間		
合計					
7 認知症の理解 (時間)					
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①認知症を取り巻く状況	時間	時間	時間		
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	時間	時間	時間		

合計					
5 介護におけるコミュニケーション技術 (時間)					
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
合計					
6 老化の理解 (時間)					
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
合計					
7 認知症の理解 (時間)					
項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		

③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	時間	時間	時間		
④家族への支援	時間	時間	時間		
合計					

8 障害の理解 (時間)

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①障害の基礎的理解	時間	時間	時間		
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	時間	時間	時間		
③家族の心理、かかわり支援の理解	時間	時間	時間		
合計					

9 こころとからだのしくみと生活支援技術 (時間)

基本知識の学習	項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	①介護の基本的な考え方	時間	時間	時間		
	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	時間	時間	時間		
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	時間	時間	時間		

	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
合計					

8 障害の理解 (時間)

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
合計					

9 こころとからだのしくみと生活支援技術 (時間)

基本知識の学習	項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
		時間	時間	時間		
		時間	時間	時間		
		時間	時間	時間		

生活支援技術の講義・演習	④生活と家事	時間	時間	時間		
	⑤快適な居住環境整備と介護	時間	時間	時間		
	⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	時間	時間		
	⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	時間	時間		
	⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	時間	時間		
	⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	時間	時間		
	⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	時間	時間		
	⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	時間	時間		
	⑫死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	時間	時間	時間		
生活支援技術演習	⑬介護過程の基礎的理解	時間				
	⑭総合生活支援技術演習	時間				
実習		時間				
合計						
10 振り返り (時間)						
項目名		時間数	講義内容及び演習の実施方法			
①振り返り		時間				

生活支援技術の講義・演習		時間	時間	時間		
		時間	時間	時間		
		時間	時間	時間		
		時間	時間	時間		
		時間	時間	時間		
		時間	時間	時間		
		時間	時間	時間		
		時間	時間	時間		
		時間	時間	時間		
生活支援技術演習		時間				
		時間				
実習		時間				
合計						
10 振り返り (時間)						
項目名		時間数	講義内容及び演習の実施方法			
		時間				

②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	時間	
合計		

全カリキュラム合計時間 時間

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。
 ※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること

合計		

全カリキュラム合計時間 時間

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。
 ※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること

生活援助従事者研修カリキュラム(通信課程用)

事業者名
研修事業の名称

1 職務の理解 (時間)					
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法			
①多様なサービスの理解	時間				
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	時間				
合計					
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①人権と尊厳を支える介護	時間	時間	時間		
②自立に向けた介護	時間	時間	時間		
合計					
3 介護の基本 (時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	時間	時間	時間		

生活援助従事者研修カリキュラム(通信課程用)

事業者名
研修事業の名称

1 職務の理解 (時間)					
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法			
	時間				
	時間				
合計					
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
合計					
3 介護の基本 (時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削 課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	時間	時間	時間		

②介護職の職業倫理	時間	時間	時間		
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	時間	時間	時間		
④介護職の安全	時間	時間	時間		
合計					

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (時間)

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①介護保険制度	時間	時間	時間		
②医療との連携とリハビリテーション	時間	時間	時間		
③障害福祉制度およびその他制度	時間	時間	時間		
合計					

5 介護におけるコミュニケーション技術 (時間)

	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
合計					

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (時間)

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
合計					

5 介護におけるコミュニケーション技術 (時間)

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①介護におけるコミュニケーション	時間	時間	時間		
②介護におけるチームのコミュニケーション	時間	時間	時間		
合計					

6 老化と認知症の理解 (時間)

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①老化に伴うこころとからだの変化と日常	時間	時間	時間		
②高齢者と健康	時間	時間	時間		
③認知症を取り巻く状況	時間	時間	時間		

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
合計					

6 老化と認知症の理解 (時間)

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		

④医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	時間	時間	時間		
⑤認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	時間	時間	時間		
⑥家族への支援	時間	時間	時間		
合計					

7 障害の理解 (時間)

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①障害の基礎的理解	時間	時間	時間		
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	時間	時間	時間		
③家族の心理、かかわり支援の理解	時間	時間	時間		
合計					

8 こころとからだのしくみと生活支援技術 (時間)

基本知識の学習	項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	①介護の基本的な考え方	時間	時間	時間		

	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
合計					

7 障害の理解 (時間)

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
	時間	時間	時間		
合計					

8 こころとからだのしくみと生活支援技術 (時間)

基本知識の学習	項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
			時間	時間	時間	

	②介護に関するところのしくみの基礎的理解	時間	時間	時間		
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	時間	時間	時間		
生活支援技術の講義・演習	④生活と家事	時間	時間	時間		
	⑤快適な居住環境整備と介護	時間	時間	時間		
	⑥移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	時間	時間		
	⑦食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	時間	時間		
	⑧睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	時間	時間	時間		
	⑨死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	時間	時間	時間		
術演習	⑩介護過程の基礎的理解	時間				
実習		時間				
	合計					
9 振り返り (時間)						
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法				

		時間	時間	時間		
		時間	時間	時間		
生活支援技術の講義・演習		時間	時間	時間		
		時間	時間	時間		
		時間	時間	時間		
		時間	時間	時間		
		時間	時間	時間		
術演習		時間				
実習		時間				
	合計					
9 振り返り (時間)						
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法				

①振り返り	時間	
②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	時間	
合計		
全カリキュラム合計時間	時間	

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。
 ※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること

	時間	
合計		
全カリキュラム合計時間	時間	

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。
 ※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること

2 通信添削課題提出期限

提出回	科目番号/項目番号/項目名	提出期限	添削担当講師
第 回		年 月 日	
第 回		年 月 日	
第 回		年 月 日	
第 回		年 月 日	
最終締切日		年 月 日	

2 通信添削課題提出期限

提出回	科目番号/項目番号/項目名	提出期限	添削担当講師
第 回		平成 年 月 日	
第 回		平成 年 月 日	
第 回		平成 年 月 日	
第 回		平成 年 月 日	
最終締切日		平成 年 月 日	

通信添削指導実施確認書

事業者名
研修事業の名称
研修指定番号及び研修個別番号

添削指導実施日	科目番号/項目番号/項目名	担当講師名
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		

別添 16～18 (略)

通信添削指導実施確認書

事業者名
研修事業の名称
研修指定番号及び研修個別番号

添削指導実施日	科目番号/項目番号/項目名	担当講師名	講師署名 又は押印
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			

別添 16～18 (略)

介護員養成研修実習免除願

介護員養成研修課程の実習について免除をしていただきたく、別紙「介護業務従事証明書」を添えて願
い出ます。

(研修事業者名) 様

年 月 日

(受講者番号等)

(氏 名)

(住 所) 〒

(電話番号)

介護員養成研修実習免除願

介護員養成研修課程の実習について免除をしていただきたく、別紙「介護業務従事証明書」を添えて願
い出ます。

(研修事業者名) 様

年 月 日

(受講者番号等)

(氏 名)

(住 所) 〒

(電話番号)

印

補講修了確認書

事業者名

研修事業の名称

研修指定番号及び個別番号

受講者名	科目番号/科目名 又は 科目・項目番号/項目名	実施方法	補講実施日・時間 (レポート認定日)	講師名
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :	
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :	
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :	
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :	
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :	
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :	
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :	
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :	
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :	
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :	
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :	
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :	
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :	
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :	

※他事業者で補講を実施した場合は、その事業者から受講証明書（受講者名、実施日時、科目名、事業者名等が記載されていること）を発行してもらい、その写しを添付する。
 ※レポートによる補講の場合は、レポート課題及び解答を添付する。

補講修了確認書

事業者名

研修事業の名称

研修指定番号及び個別番号

受講者名	科目番号/科目名 又は 科目・項目番号/項目名	実施方法	補講実施日・時間 (レポート認定日)	講師名	講師署名 又は押印
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :		
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :		
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :		
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :		
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :		
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :		
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :		
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :		
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :		
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :		
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :		
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :		
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :		
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :		
		講義 レポート	年 月 日 : ~ :		

※他事業者で補講を実施した場合は、その事業者から受講証明書（受講者名、実施日時、科目名、事業者名等が記載されていること）を発行してもらい、その写しを添付する。
 ※レポートによる補講の場合は、レポート課題及び解答を添付する。

研 修 日 誌

研修日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分		
科目・項目 番号/項目名		講師氏名	
会 場			
出欠状況	出席者数 人、 欠席者数 人		
研修内容の 概略			
受講者への 連絡事項等		記録者氏名	

研修日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分		
科目・項目 番号/項目名		講師氏名	
会 場			
出欠状況	出席者数 人、 欠席者数 人		
研修内容の 概略			
受講者への 連絡事項等		記録者氏名	

研 修 日 誌

研修日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分		
科目・項目 番号/項目名		講師氏名	
会 場			
出欠状況	出席者数 人、 欠席者数 人		
研修内容の 概略			
受講者への 連絡事項等		記録者氏名	印

研修日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分		
科目・項目 番号/項目名		講師氏名	
会 場			
出欠状況	出席者数 人、 欠席者数 人		
研修内容の 概略			
受講者への 連絡事項等		記録者氏名	印

実習記録

参考様式2

【受講者氏名

】

実施年月日	年 月 日 ()	実施時間	時 分 ~ 時 分
実習の種類	施設・居住型実習 ・ 通所事業所実習 ・ 訪問介護実習		
実習先施設名			
実習の目的 経験目標			
実習内容	時 間	実習の具体的内容	
反省・感想等			
実習指導者 評価	実習指導者名		

参考様式3～4 (略)

実習記録

参考様式2

【受講者氏名

】

実施年月日	年 月 日 ()	実施時間	時 分 ~ 時 分
実習の種類	施設・居住型実習 ・ 通所事業所実習 ・ 訪問介護実習		
実習先施設名			
実習の目的 経験目標			
実習内容	時 間	実習の具体的内容	
反省・感想等			
実習指導者 評価・確認印	実習指導者名		印

参考様式3～4 (略)